

# 「細菌」や「ウイルス」から身体を守る正しい習慣とは？

## 今すぐできること

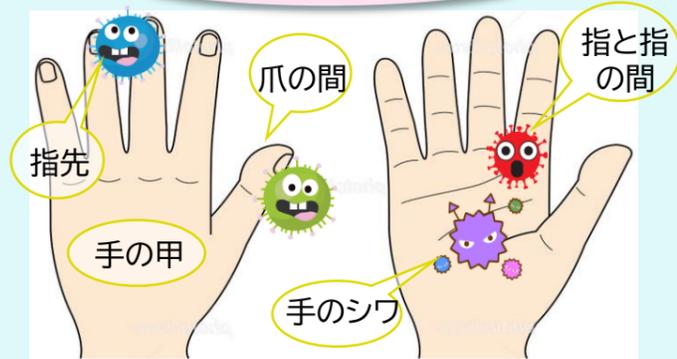
抗ウイルス薬の開発は難しいと言われています。感染症にならないために、私たちが今すぐできること。それは「手洗い」です。



## 「手洗い」が大切な理由

私たちが感染する病原体（細菌やウイルス）の多くは、まずは私たちの手に付着します。手を洗うことで、**手についた病原体が体に侵入するのを防ぐだけでなく、周りの人に感染を拡げること**を防ぐこともできるのです。「手洗い」は、日々の生活の中でできる、きわめて有効な感染対策です。

### 洗い残しの多い部分



## より効果的な衛生的手洗いとは

ウイルスや細菌を極力すべて排除するためには、衛生的手洗いが必要です。



薬用のハンドソープ（30秒の手洗い）でウイルスは1万分の1

手洗いが直ぐできないときは、アルコール手指消毒を効果的に活用

## みなみ野病院の感染対策

新型コロナウイルスに限らずすべてのウイルスは、変異し性質が大きく変化することもあります。当院では、感染対策の基本を守りつつ、必要な対応を確実に行っていくことが重要であると再認識し、職員ひとり一人の知識や認識の違いがないよう、職員全員で感染対策に取り組んでいます。当院で実施している取組みの一部をご紹介します。



- 全職員各自、消毒液を携帯し、**1行動1手指消毒**を徹底。
- 感染対策チームが、定期的に手指消毒・ゴミの取扱い・換気等の状況を見回り、さらにリハビリ科・看護部の管理職が、毎日他病棟の**標準予防策の実施方法**を細かくチェック。
- 以前より実施していた感染対策研修に加え、**職員ごとの認識の統一**をはかるため、全職員に対し手指衛生や防護用具の着脱等の研修を実施。

# はーとふる みなみ野



医療法人社団永生会  
みなみ野病院広報誌  
2023年3月発行  
Vol.17  
Take Free



### 〈表紙について〉

「だるま（達磨）」は新年の縁起物として人々に親しまれています。モデルになった達磨大師という人物が唱えた「二入四行論（ににゅうしぎょうろん）」の教えに従えば願いが叶うとされていることから、だるま自体も願いや目標に近づくための縁起物として飾られるようになったそうです。だるまの赤には魔除けの意味があるとされ、近年では色の違いによって様々な意味を込めて作られているようです。表紙のカラフルなだるまは、リハビリスタッフの力作で、1階回復期リハ病棟に展示された作品です。

## 院内ギャラリー

12月から2月に作成した季節のディスプレイです。

回復期リハ病棟



通所リハビリ



医療療養病棟



緩和ケア病棟



回復期リハ病棟



通所リハビリ



医療療養病棟



緩和ケア病棟



## コンテンツ

- 院内ギャラリー（12月～2月）
- 「はーとふるみなみ野」についてのアンケートご協力のお願い
- 細菌やウイルスから身体を守る正しい習慣とは
- 障害を理解し、支援するための特別企画「失語症を知る」



みなみ野病院

検索



ご自由にお持ちください

## 「障害」を理解し、「支援」するための特別企画

みなみ野病院では、様々なご病気により障害を負ってしまった患者様への医療を提供しております。今回は、脳内出血などの脳血管障害や交通事故・転倒などにより、大脳の言語をつかさどる部分が損傷されて起こる言葉の障害「失語症」について、その状態と支援の方法を、言語障害の専門家である言語聴覚士（ST）が解説します。



### 「失語症」を知って、より良いコミュニケーションを！

失語症は、脳卒中など脳の損傷による言葉の障害です。話すのが難しいだけでなく、言葉を「聞いて理解する」「読んで理解する」「書いて表現する」こと全てが苦手になります。具体的な症状は、脳の損傷の場所や大きさによっても様々です。

#### 1. よくある誤解

##### 「認知症」と同じ？... → ❌

コミュニケーションがうまくいかないことや、言葉を思い出せないことから、認知症と誤解されやすいが、失語症は認知症とは別の物です。失語症の場合は、言葉がうまく使えないだけで、記憶力や判断力は保たれます。



##### ストレスが原因？... → ❌

ストレスにより言葉が出なくなる事もありますが、失語症はそのような症状とは異なり、ストレスではなく、脳の損傷により発症します。



##### 筆談で、「あいうえお表」を使えばいい？... → ❌

失語症になると話せなくなるだけでなく、字を書くことも苦手になりやすくなります。また、失語症の方にとって、漢字よりも仮名の方が難しいことも少なくありません。このような理由により、「あいうえお表」を使ってコミュニケーションをとることは難しい場面が多くあります。



#### 2. 支援の方法は？

失語症のある方に対する適切な支援方法は、その方の症状や重症度、ご性格などにより大きく異なりますが、一般的に下記のような支援方法が有効といわれています。

##### こちらから何かを伝えたいとき

- ゆっくり、短く区切って話す。
- 話題をころころ変えない。
- 話し言葉にこだわらず、文字や絵、ジェスチャーなどを使う。



##### 本人の言いたいことを確認したいとき

- 言葉が出てくるのをゆっくり待つ。
- 選択肢を示して選んでもらう。
- 「はい」「いいえ」でわかる質問で確認する。

### 3. 支援は、「尊厳と尊重」が大事！

「わかりやすく伝えよう」とすると、つい子供に語り掛けるような口調になってしまいがちです。子ども扱いをされると失語症の有無にかかわらず、誰でも傷つきます。無意識に「子ども扱い」をしてしまっていないか、気を付けるようにしましょう。

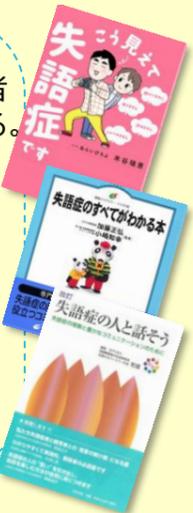


やり取りを円滑にしようとして、つい失語症の方の話を最後まで聞かずに「こういうことが言いたいのだろう」と決めつけてしまったり、本人の意思を差し置いて「代弁者」になってしまうことがあります。本人の言葉、本人の意思をしっかりと尊重することが大事です。

### 4. 失語症についてもっとよく知るには？

失語症について書かれた書籍としては、以下のようなものがおすすめです。失語症とはどういうものか、どう支援すればよいかイメージしやすくなると思います。

- (1) 「こう見えて失語症です」米谷瑞恵(著)/あらいひろよ(イラスト)/主婦の友社  
・失語症者の妻が書いた本。著者は夫の失語症がきっかけでSTの資格を取得。失語症者をサポートする家族の視点と、失語症の専門家であるSTの視点の両方で書かれている。
- (2) 「失語症のすべてがわかる本」加藤正弘・小嶋知幸(著)/講談社  
・専門家によって書かれた一般の方向けの本。しっかりした内容を、豊富なイラストでわかりやすく解説している。
- (3) 「失語症の人と話そう 失語症の理解と豊かなコミュニケーションのために」編集NPO法人言語障害者の社会参加を支援するパートナーの会 和音(編集)/中央法規出版  
・失語症のある方との接し方について書かれた本。コミュニケーションを支援するための方法が具体的にわかる。身近に失語症者がいる方には特におすすめ。



### 5. 最後に

手足の麻痺などとは違って、失語症は「目に見えない障害」とも言われています。障害が見えない事で、本人は周囲の無理解に苦しむことも少なくありません。少しでも失語症について理解している方が増えれば、それだけ失語症の方は安心して生活することができます。失語症についてご理解いただき、より良いコミュニケーションの一助になれば幸いです。

### 広報誌「はーとふるみなみ野」についてのアンケートご協力のお願い

みなみ野病院広報委員会では、広報誌「はーとふるみなみ野」に関するご意見やご感想をお伺いするため、アンケートを実施しております。

病院ホームページアンケートサイトから回答できます。



アンケート

ササッと  
約3分(全9問)で回答できます。

ご回答いただきました内容につきましては、今後の広報活動に役立てて参ります。何卒ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

